

平成 30 年度大学評価担当者集会 (H30. 8. 22)

分科会 3 「次のフェイズに向けた IR の Tips～学内データの有効活用に必要なこと～」

アンケート結果

アンケートは、参加者 62 人（うちスタッフ 6 人）中 52 人から有効な回答があった。有効回答率は 83.9%である。グラフに示す通り、満足度は約 4 割強が「満足」と回答した。時間は 3 / 4 が「丁度よい」と回答し、多くの参加者にとって適度な長さだったと言えるが、「長い」「やや長い」「やや短い」「短い」と回答した者も 1 / 4 いた。本分科会で得たものについては、「事例」「考え方」「知識」がほとんどを占めた。自由記述では、分科会のタイトルと内容が予想と異なっていたという意見が複数あった。今回扱った話題の中では、規定、ガイドライン、FERPA の事例について参加者の関心が高いことがうかがえた。

(藤井 [九州大])



